



まちの話題をお届けします

市ホームページの「旬感まちのニュース」では、このコーナーに掲載できなかったさまざまな話題を紹介しています。最新のニュースから過去3年分まで、写真とともに閲覧できます。ぜひご覧ください。



8/28 「おせっかいの会」から絵本の寄贈

同会が実施している野菜福祉募金を活用し、市内の幼保園等17施設に絵本8作品、124冊が贈られました。贈呈式では、堀之内幼稚園の園児3人が代表して絵本を受け取りと早速絵本を読んでいた。



9/6 シニアクラブ菊川輪投げ大会

同クラブは体力維持と健康増進などのために毎年スポーツ大会を開催しています。今年は輪投げ大会が行われ、会員84人が参加。次々と輪を的棒に投げ入れ、会場は元気な声と笑顔があふれていました。



9/26 小笠南小親子きのこ料理教室

1年生児童と保護者24組が参加。嶺田地区に工場があるホクト株式会社の社員からキノコの栄養などについて学んだあと、ギョーザの皮にマイタケを載せた一口サイズのピザを親子で作って食べました。



9/29 堀之内小6年生バスケ交流会

同校体育館でプロバスケットボールチーム三遠ネオフェニックス元選手の鹿毛誠一郎さんと6年生児童58人が交流会を行い、バスケの楽しさやプロになるために大切なことを学びました。



10/3 渡辺いせさん100歳おめでとうございます

渡辺いせさん(上本所)が100歳の誕生日を迎え、入居施設で家族が見守る中、市職員から花束と記念品が贈られました。いせさんは、「毎朝足の体操をしています」と長寿の秘訣を教えてくださいました。



手話言語の国際デー ブルーライトアップ 話でつながる世界を目指して

9月23日、「手話言語の国際デー」に合わせてプラザけやきが青色の光でライトアップされました。世界ろう連盟が呼び掛けている「世界平和」を表す青色でのライトアップに市も賛同し、身体障害者福祉会ろうあ部や手話サークルの会員と市民活動団体たねあかりが協力して初めて開催しました。参加者全員でカウントダウンの掛け声を手話で行い、プラザけやき正面玄関が青色に照らされると、手話の拍手が沸き起こりました。

屋内では「ミニ手話教室」や「手話しりとり」、「手話かるた」の体験が行われ、みんなで手話に親しみました。



1 青く照らされたプラザけやき 2 みんなで手話を楽しく体験

地 中央工業団地協同組合40周年記念事業 域産業のさらなる発展を共に

9月25日、町部地区センター多目的ホールで、菊川中央工業団地協同組合40周年記念事業が開催され、同組合に所属する企業の代表者ら12人が参加しました。

同組合は、菊川市本所地内にある「菊川中央工業団地」に立地する企業14社で作る団体で、製造業を中心としたものづくり企業が多く所属しています。昭和58年5月12日の設立から今年で40周年の節目を迎えたことから、記念事業として市長を招いた懇談会を開催。市長が自ら市政報告を行うと、参加者は真剣に耳を傾けていました。



1 組合の高野代表があいさつ 2 市政報告を聞く参加者